

わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に活用してもらいたいわが家の情報です。災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。連絡してほしい方などの情報を記入しましょう。

わが家の避難先	土砂災害時・洪水時	地震時
家族が離れているときの集合場所	土砂災害時・洪水時	地震時

氏名	連絡先(電話)	会社・学校	血液型	かかりつけ医・常備薬

【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。

緊急ダイヤル 消防へ火事・救急・救助の連絡 **119** 警察へ事件・事故の連絡 **110**

あなたの無事を伝えましょう 体験利用日:「毎月1日および15日」、「正月三が日」、「防災週間」、「防災とボランティア週間」

171
災害用伝言ダイヤル
電話を利用して被災地の方の
安否情報を確認する「声の伝言板」です。

171
にダイヤル

音声ガイダンスによるご案内
録音は **1**
再生は **2**
音声ガイダンスによるご案内

被災地の方の固定電話または携帯電話・IP電話の番号をダイヤルしてください。なお、固定電話の場合には市外局番から入力して頂く必要があります。

0

 - -

ガイダンスに従い、録音(再生)

災害用伝言板(パソコン・スマートフォン用)

web 171
災害用伝言板
インターネットを利用して被災地の方の安否情報を確認する「web伝言板」です。

<https://www.web171.jp/>へ
アクセスまたは「web171」で検索

伝言を登録する被災地の方などの
電話番号を入力

説明に従い、
登録/確認

発行 中之条町役場

総務課 TEL 0279-75-2111 FAX 0279-75-6562

この地図は、中之条町長の承認を得て、同町作成の1/2,500都市計画図及び1/10,000地形図を使用し、調製したものである。
この地図は、令和元年6月14日付けで群馬県知事の承認を得て、同県作成の森林基本図を使用し、調製したものである。承認番号 林第358-2号
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 2JHs 293-1221 号」
※使用ピクトグラム… JIS Z8210 [鉄道/鉄道駅]

令和5年3月発行

中之条町

防災 ハザードマップ

～大切な命を守るために～

保存版



さまざまな災害に備えましょう

目次

- | | | | |
|-------------|---------|---------------------|-------------|
| ● 5段階の警戒レベル | 1 | ● 竜巻・雪害対策 | 9 |
| ● 避難行動判定フロー | 2 | ● 感染症対策 | 10 |
| ● 災害時の情報伝達 | 3 | ● 弾道ミサイル落下時の行動について | ... 11 |
| ● 揺れやすさマップ | 4 | ● 非常時持出品・備蓄品 | 12 |
| ● 地震対策 | 5 | ● 避難所等一覧 | 13 |
| ● 土砂災害対策 | 6 | ● 全体索引図・ハザードマップ凡例 | 14 |
| ● 風水害対策 | 7 | ● 詳細図1～16 | 15～46 |
| ● 火災対策 | 8 | ● わが家の「緊急・救急情報」防災メモ | ... 裏表紙 |

5段階の警戒レベル

高	避難情報等(警戒レベル)			河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)		
	警戒レベル状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
				洪水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)	
	5 災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	きんきゅう 緊急 あんぜんかくほ 安全確保 ※1	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報(土砂災害)
	〰〰〰警戒レベル4までに必ず避難！〰〰〰					
	4 災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	ひなんしじ 避難指示 ※2	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
	3 災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ●避難に時間のかかる要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児等)とその支援者は避難 ●高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難	こうれいしゃとう 高齢者等避難 ※3	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
	2 気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	2相当	氾濫注意情報	—
低	1 今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高めましょう	早期注意情報	1相当	—	—

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

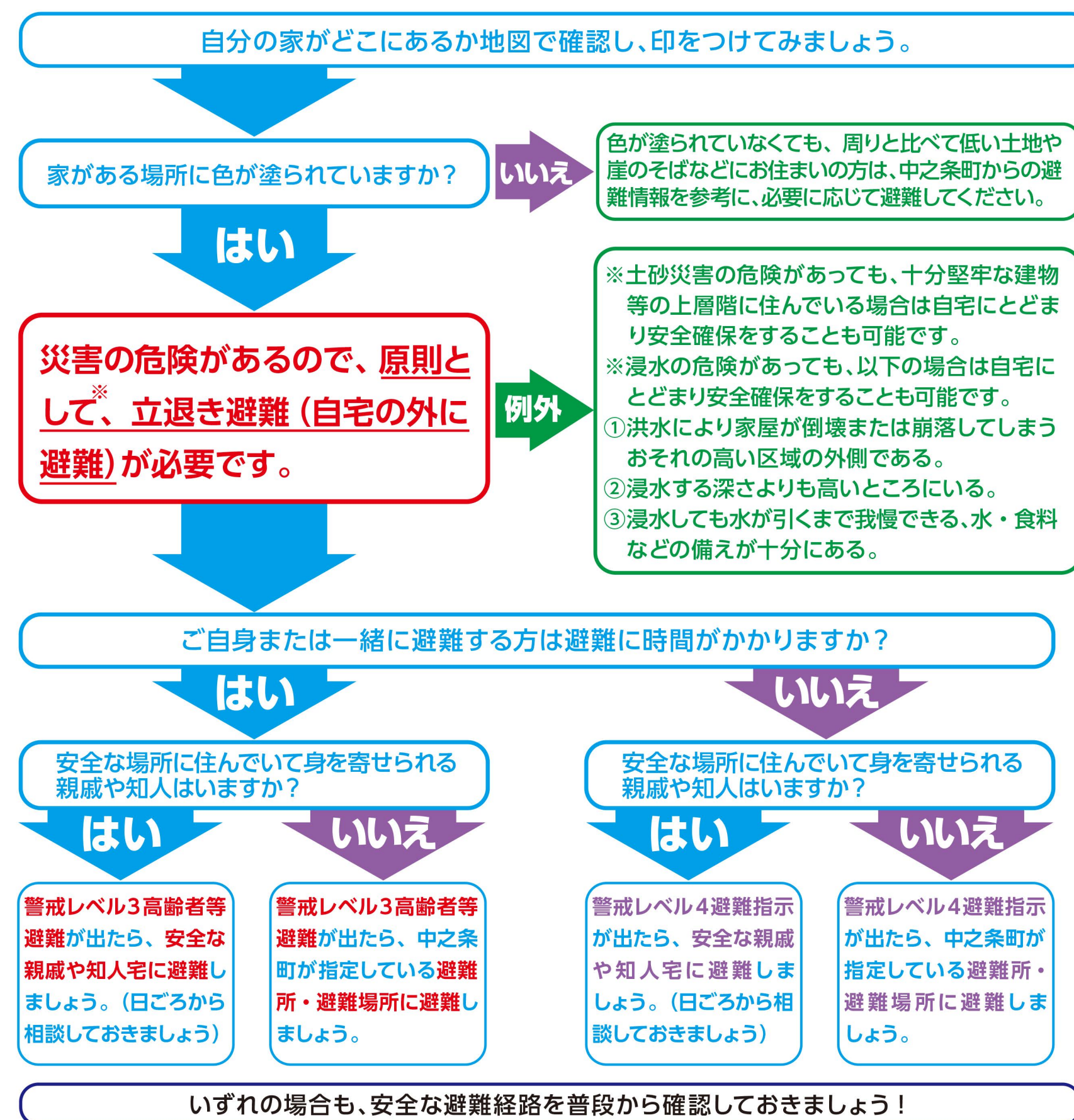
警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません！

警戒レベル4避難指示で
 危険な場所から**全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？必ず取り組みましょう！



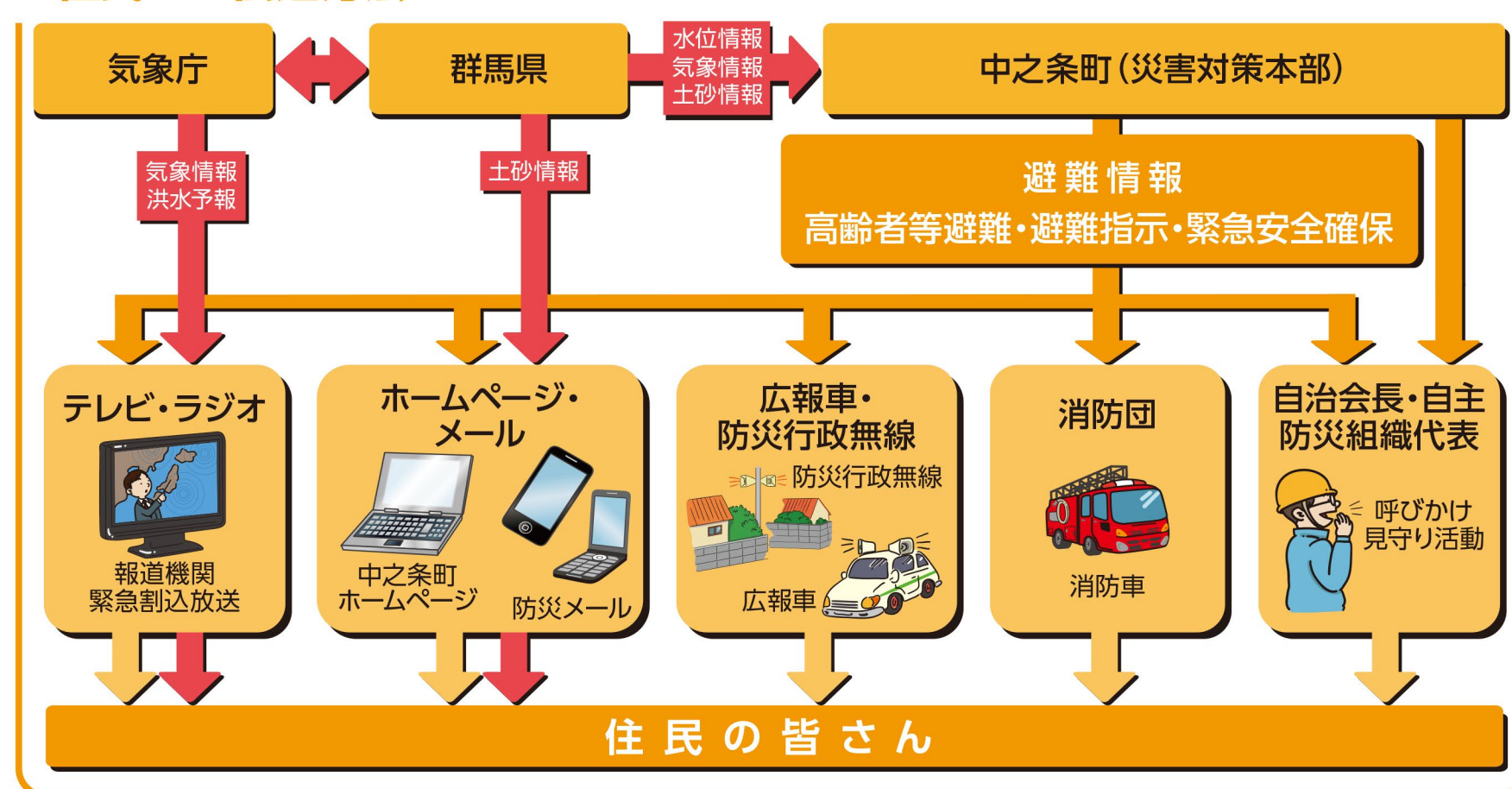
避難する場合は以下のポイントを確認し安全に避難しましょう！

- ！ 警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。
- ！ 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。
- ！ 避難先は小中学校・公民館だけではなく、安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

避難する際は、近所の方にも声を掛け、お互いに助け合いましょう！

災害時の情報伝達

▼住民への伝達方法



▼中之条町安心メールの登録をしましょう

町では災害、火災等の情報や町からのお知らせを電子メールで配信するサービスを行っています。利用者登録をすることで、携帯電話やスマートフォン、パソコンに情報が配信されます。利用を希望する人は、配信内容、注意事項および規約を確認のうえ、利用者登録をしてください。

- 配信内容**
- 防犯防災情報：火災発生情報、気象警報、不審者や行方不明などの警察情報、熊出没情報など
 - 生活関連情報：日常的な行政情報、各種イベントおよびスポーツ行事の情報など

登録方法

- 1 携帯電話、スマートフォンまたはパソコンから ml.town_nakanojo@e-park.ne.jp へ空メール(件名や本文を入れない)を送信する。または、バーコード読み取り機能付きの携帯電話やスマートフォンで、右の二次元コードを読み取り、表示されるアドレスに空メールを送る。
- 2 折り返し「防犯防災情報」「生活関連情報」それぞれの登録用メールアドレスが入った登録案内メールが届く。
- 3 希望する情報の登録用メールアドレスに空メールを送信する。
- 4 登録受付完了メールが届き、手続き終了。



◆情報を集めましょう◆

▼テレビ

- ①リモコンのdボタンを押す
- ②「防災・生活情報」を選択する



▼かわみるぐんま

群馬県内の河川水位、雨量、ダム、ライブカメラの情報や、予測雨量情報など



▼群馬県 水位雨量 情報システム

群馬県内の雨量・水位・ダム情報など



▼気象庁

防災情報、天気、キキフル(危険度分布)、大雨・大雪、地震・火山情報など



▼川の防災情報

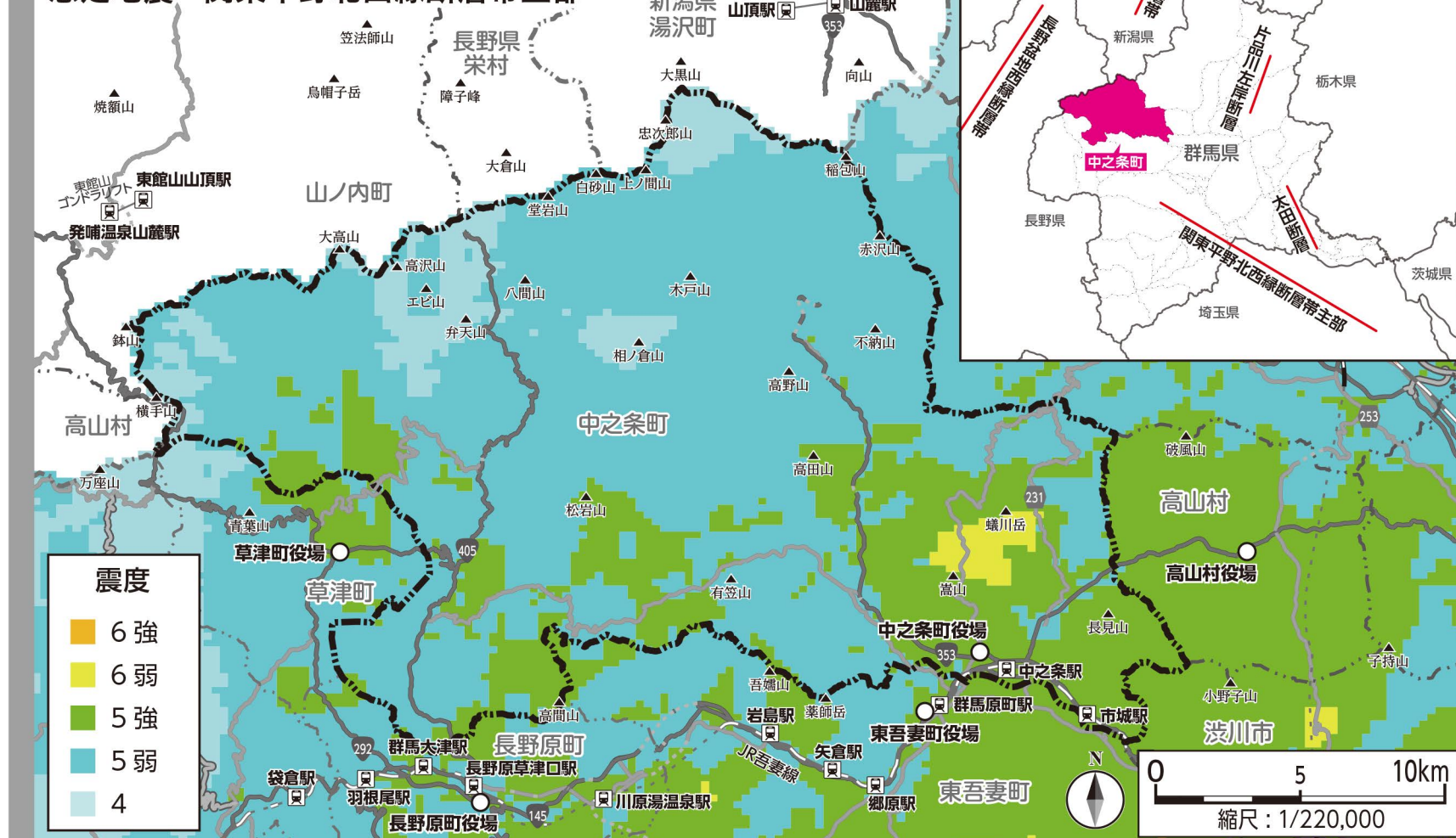
カメラ画像、河川の観測水位、水位予測など



揺れやすさマップ

震度分布図

想定地震：関東平野北西縁断層帯主部



液状化可能性分布図

想定地震：関東平野北西縁断層帯主部



地震対策

地震災害とは？

地震による災害は、建物倒壊、火災の発生、土砂崩れ、液状化現象などがあります。建物倒壊や土砂崩れなどによって道路が通れなくなったり、線路の安全確認により電車が動かなくなる交通障害もあります。また停電やガスの停止、水道の断水が起こる場合もあり、電話やインターネットもつながりにくくなります。

地震のときの行動は？

地震の揺れを感じた場合や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなどで正確な情報の把握に努めましょう。

地震発生

1~2分

3分

5分

10分

数時間
3日

最初の大きな揺れは約1分間

- あわてずに身の安全を確保する

揺れがおさまったら

- **火元を確認する** 火が出たら、落ち着いて初期消火する
- **家族の安全を確認する** 倒れた家具の下敷きになっていないか確認する
- **靴をはく** 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- **避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機などの転倒に注意する**

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に
声を掛けよう**

 - 要配慮者の安全を確保する
 - 隣近所で助け合う
 - 行方不明者はいないか確認する
 - ケガ人はいないか確認する

**出火防止
初期消火**

 - 消火器を使う
 - 余震に注意する
 - 漏電・ガス漏れに注意する

電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める

テレビ・スマートフォン・ラジオなどで正しい情報を確認する

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認する
- デマにまどわされないようにする
- 避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する

協力して消火活動、救出・救護活動をする

- 水、食料は蓄えているものでまかなう
- 災害・被害情報を収集する ● 壊れた家に入らない
- 近くの人を救出・救護する

屋内にいる場合

家中

- 頭を保護しながら丈夫な机の下などに隠れる
 - 火の確認はすみやかにする（ガスの元栓の処置も忘れずに）
 - 高齢者や障がい者、乳幼児など要配慮者の安全を確保する
 - 裸足で歩き回らないようにする（ガラスの破片などでケガをしないため）
- 大規模店舗や集客施設にいるとき**
- つり下がっている照明などの下から避難する
 - あわてて出口や階段に殺到しない
- エレベーターに乗っているとき**
- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

屋外にいる場合

路上

- ブロック塀や自動販売機には近づかず、ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意する
 - 頭をカバンなどで保護する
- 
- A cartoon illustration of a woman in a blue jacket and green skirt running away from a falling sign. The sign is a green rectangular board with a black frame, and it is falling towards the ground. There are some green plants and a brown pot on the ground near the sign. The woman has a worried expression on her face.
- 車を運転中**
- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず徐々に速度を落とす
 - 避難するときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない
 - 車検証などの貴重品を忘れずに持ち出す
- 山や崖付近にいるとき**
- 落石や崖崩れに注意し、できるだけその場から離れる

土砂災害対策

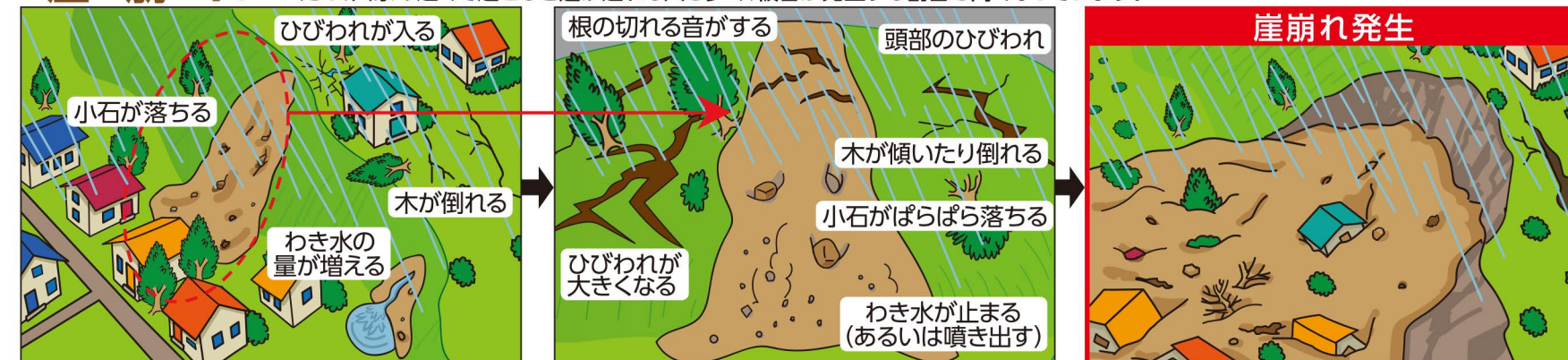
「土砂災害」とは、台風、大雨、地震などにより発生しやすくなります。斜面の地表に近い部分が雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる「**崖崩れ**」、山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって一気に下流へと押し流される「**土石流**」、斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する「**地滑り**」があります。また、土砂災害が発生する前には、さまざまな前兆現象が起こるときがあります。

土砂災害の前兆・種類

※下記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起こるというものではありません。普段と違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

崖崩れ

地中に浸みこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。崖崩れは突然起こるため、人家の近くで起こると逃げ遅れる人も多く、被害が発生する割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地 滑 り

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害をおよぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



土砂災害危険箇所について

土砂災害防止法に基づき群馬県が計画的に基礎調査を実施して、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定および見直しを行っています。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域です。



風水害対策

「風水害」とは、強風、大雨、洪水などによる自然災害のことです。これらは、毎年のように全国各地に大きな被害をもたらしています。このような自然災害から身を守るためには、さまざまな自然現象について正しい知識を持ち、自分自身への身近な危険として認識し、災害時にとるべき行動を平時から身につけておくことが重要です。

氾濫の種類

内水氾濫とは

市街地などで大雨が降ると、側溝や排水路だけでは雨水を流しきれなくなることがあり、あふれ出した雨水により、建物や土地・道路等が水に浸かってしまうことです。雨が降り始めてから短時間で浸水することもあるので注意が必要です。

外水氾濫とは

河川の堤防から水があふれたり、堤防が決壊して、家屋や田畑等が浸水することです。外水氾濫が発生すると、大量の水が流れ込み、広い範囲で浸水し、水が引くまでに時間がかかります。

雨の強さと降り方				
やや強い雨 ザーザーと降る	強い雨 どしゃ降り	激しい雨 バケツをひっくり返したように降る	非常に激しい雨 滝のようにゴーゴーと降り続く	猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感があり恐怖を感じる
地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる。ワイパーを速くしても見づらい	道路が川のようになる。高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	傘は全く役に立たなくなる。車の運転は危険
10mm以上～20mm未満	20mm以上～30mm未満	30mm以上～50mm未満	50mm以上～80mm未満	80mm以上～

風の強さと吹き方			
やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。樹木全体や電線が揺れ始める	風に向かって歩けない。転倒する人も出る。雨戸やシャッターが揺れる	何かにつかまっていけない。飛来物によって負傷するおそれがある	屋外での行動はきわめて危険。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック塀で倒壊するものがある
平均風速 10m/s以上～15m/s未満	平均風速 15m/s以上～20m/s未満	平均風速 20m/s以上～30m/s未満	平均風速 30m/s以上

台風について

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。

大きさの階級	大きさ	風速15m/s以上の半径
大型（大きい）		500km以上800km未満
超大型（非常に大きい）		800km以上
強さの階級	強さ	最大風速
強い		33m/s以上44m/s未満
非常に強い		44m/s以上54m/s未満
猛烈な		54m/s以上

台風への備え

- 屋根**
 - 瓦のひび、われ、ずれ、はがれはないか
 - トタンはめくれややはがれがないか
- ベランダ**
 - 鉢植えや物干し竿など飛散の危険が高いものは室内へ
- 窓ガラス**
 - ひびわれ、窓枠のガタツキはないか。また強風による飛来物などに備えて、窓に飛散防止フィルムを貼る。外側から板でふさぐなどの処置をする
- ブロック塀・板壁**
 - ブロック塀にひびわれや破損箇所はないか
 - 板壁にぐらつきや腐りはないか
- 雨どい**
 - 雨どいに落ち葉や砂などが詰まっていないか。断目ははがれ、腐りはないか
- テレビアンテナ**
 - 錆びたりゆるんだりしていないか。不安定なアンテナは固定する
- プロパンガス**
 - 固定されているか

火災対策

初期消火の3原則！ 1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければ鍋やかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。

火元別初期消火のコツ

油鍋	電気製品	衣類
あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火する。	いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて消火する。（できればブレーカーも下ろす）	着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類（化繊は避ける）やタオルなどを頭からかぶる。
浴室	石油ストーブ	カーテン・ふすま
浴室からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を閉め、徐々に戸を開けて一気に消火する。	真上から一気に水をかけて消火する。（斜めにかけてと石油が飛び散って危険）石油が流れて広がっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火する。	カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。火元を天井から遠ざけ、その上で消火する。

3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、すみやかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を断つ。

消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合

- 安全ピンに指をかけ上に引き抜く。
- ホースをはずして火元に向ける。
- レバーを強く握って噴射する。

消火器の構え方

- 風上に回り風上から消す。火事にはまともに正面から立ち向かわないようにする。
- やや腰を落として姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

自宅の火災予防

火災警報器の設置義務化

消防法に基づき、住宅用火災警報器の設置が義務づけられました。火災による死傷者をなくすためにも設置しましょう。

火災警報器の設置場所

寝室	階段
すべての寝室への設置が必要です。（子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります）	寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。

住宅内取付位置図

注意：住宅用火災警報器は電池式のもの主流です。電池の寿命は5年から10年といわれていますので、早めに交換しましょう。

竜巻・雪害対策

竜巻対策

発達した積乱雲からは、竜巻、ダウンバースト、ガストフロントといった、激しい突風や雷をもたらす現象が発生します。竜巻は、積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻きで、多くの場合、漏斗(ろうと)状または柱状の雲を伴います。



「竜巻」が間近に迫ったら… いろいろな物が猛スピードで飛んできます！

- 屋外では**
- ・頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくする
 - ・物置や車庫、プレハブの中には入らない
 - ・シャッターを閉める
 - ・電柱や太い木には近づかない

- 屋内では**
- ・窓から離れる
 - ・窓やカーテンを閉める
 - ・丈夫な机やテーブルの下に入って、身を小さくして頭を守る
 - ・家の1階の窓の少ない部屋に移動する

竜巻に遭遇した人からは次のような声を聞きます。このような場合には、あなたの身に危険が迫っています。

- ・雲の底から地上に伸びる漏斗(ろうと)状の雲を見た。
- ・飛散物が筒状に舞い上がるのを見た。
- ・ゴーという音がしたのと同じと違うと感じた。
- ・気圧の変化で耳に異常を感じた。

竜巻注意情報(気象庁)



雪害対策

大雪災害が発生した場合には公助だけでは対応が困難なことから、**自助・共助での取り組みが非常に重要**になります。まずは、家庭内や地域で大雪時の対応について話し合い、あらかじめ大雪に備えましょう。

大雪が降った場合

除雪作業の注意点

雪かきスコップなどの除雪用具を用意しましょう。また、作業中は転倒や屋根雪の落下に注意しましょう。県・市町村は、所管する幹線道路を中心に、除雪作業を行います。住民の皆さんは、**自助・共助の精神に基づき自宅付近の除雪を行うなど通行の確保、孤立・閉じ込め状況の解消に協力してください。**ただし、個人敷地内も含め、除雪した雪は事故やケガの元になりますので道路に出さないでください。

備蓄をしましょう

積雪により外出できなくなる場合に備え、水(1人1日3リットルが目安)、食料、灯油等の備蓄を確認しましょう。特別な非常食に限らず、普段から購入しているものを少し多く買い置きすることで十分です。(最低3日分・推奨7日分)



落雪に注意しましょう

屋根の雪が解け始めると、**大きなかたまりになって落下する場合があります大変危険です。**可能な限り屋根の雪を下ろすか、下に物を置かないようにしたり、通行者に注意を呼び掛ける表示をしましょう。歩行等通行中は足元に注意するとともに、頭上にも十分注意してください。



外出は控えましょう

積雪時には不要不急の外出は極力控えてください。自動車等により雪が踏み固められると除雪が遅れ、交通障害の原因となります。



地域で助け合いましょう

近所にひとり暮らしの高齢者や障がいのある方がいる場合は、地域で協力して助け合いましょう。



感染症対策

ウイルス等の感染症が収束しない中でも、**災害時には**

危険な場所にいる人は避難することが原則

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な行動をとりましょう。

知っておくべき 5つのポイント

- 1 避難とは『難』を『避』けること**
自宅での安全確保が可能な人は、感染のリスクを負ってまで避難所・避難場所に行く必要はありません。
- 2 避難先は学校・公民館だけではありません**
避難所・避難場所が過密状態となることを防ぐため、安全な場所に住む親戚・知人宅に避難することも検討しましょう。
- 3 マスク・消毒液・体温計が不足しています**
避難所・避難場所の備蓄には限りがあるため、できるだけ**自ら携行**してください。(マスクがない場合にはタオル・ハンカチ等、消毒液はウェットティッシュでも代用できます)
- 4 避難所・避難場所の変更・増設を確認**
本書発行後に情報が変わる可能性があります。あらかじめ**中之条町のホームページ**等で確認してください。
- 5 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です**
避難先への経路など**周囲の安全確認**を十分に行ってください。

避難先では感染症予防に努めましょう

- ・避難所・避難場所に入る前に**
感染の拡大を未然に防ぐことが非常に重要です。避難所・避難場所に入る前に、発熱の有無など体調をチェックしましょう。
- ・換気の実施**
可能な限り、定期的に換気を行いましょう。換気は季節を問わないので、寒暖差への防寒対策が必要です。
- ・手洗い、うがいをこまめに**
食事前や、トイレなど共有部分に触れた後は、石けんと水で手洗いしましょう。水を十分に確保できない場合は、アルコール消毒液などで代用しましょう。
- ・「3密」(密閉・密集・密接)の回避**
避難者同士2m程度の距離を保ちましょう。向かい合わせではなく背中合わせに座ったり、段ボールなどの間仕切りを利用すると、飛沫感染の予防になります。また食事時間をずらすなどして、密集・密接を避けましょう。
- ・咳エチケットの徹底**
飛沫感染の予防のため、咳などが出ていなくても屋内ではマスクを着用しましょう。
- ・日々の健康状態をチェック**
定期的に体温を測定し、体調の変化を感じた場合にはすぐに避難所・避難場所のスタッフに相談しましょう。

弾道ミサイル落下時の行動について



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。



Jアラート (例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、または地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください。

弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、**Jアラート** を通じて **緊急情報** を流します。

屋外にいる場合【爆風や破片などを避ける】



近くの建物の中
または **地下に避難**

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになければ、それ以外の建物でも構いません。

もしも、近くに建物がない場合は

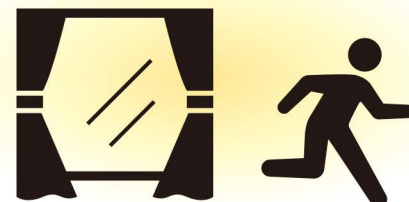


物陰に身を隠す
または
地面に伏せて頭部を守る



近くにミサイル落下! 口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

屋内にいる場合【爆風で割れた窓ガラスなどを避ける】



窓から離れる または
窓のない部屋に移動する



近くにミサイル落下! 換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

弾道ミサイルが着弾した場合、**激しい爆風** や **破片** などにより、**身体へ大きな被害** を受ける可能性があります。

爆風

※イメージです



破片

※イメージです



爆風や破片などから身を守るため、状況に応じた避難行動をとることが大切です!

国民保護ポータルサイト

武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryou/hogo_manual.html



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai

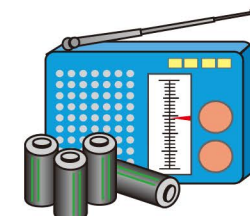
ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます

非常時持出品・備蓄品

非常時持出品(例)

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

携帯ラジオ



- ☐ ラジオ
- ☐ 電池 (多めに用意)

救急医療品



- ☐ 救急セット
- ☐ 常備薬(持病の薬など)

- 感染症対策**
- ☐ マスク
 - ☐ 手指の消毒液
 - ☐ 体温計

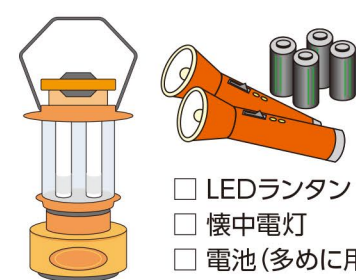
非常用食品



火を通さないで食べられるもの

- ☐ 飲料水
- ☐ 乾パン
- ☐ 缶詰
- ☐ アルファ米
- ☐ 飴・チョコ

ライト類



- ☐ LEDランタン
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 電池 (多めに用意)

その他

- ☐ 現金(小銭多めに)
- ☐ ホイッスル(助けを呼ぶため)
- ☐ 着替え
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ スマートフォン・携帯電話の充電器
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ タオル
- ☐ ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)

- ☐ 割りばし
- ☐ 紙皿・紙コップ
- ☐ 新聞紙
- ☐ ビニール袋
- ☐ 耳栓・アイマスク

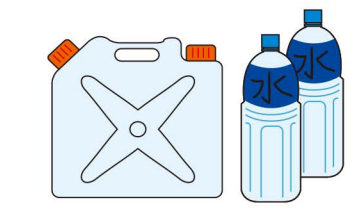
各家庭に必要なもの

- ☐ 赤ちゃん用品(ミルク・離乳食・おむつなど)
- ☐ 生理用品
- ☐ コンタクトレンズ・めがね
- ☐ 入れ歯・補聴器
- ☐ リュックサック

非常時備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低限3日、推奨7日)を生活できるようにしましょう。

飲料水



- ☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水したタンク

非常用食品



- ☐ お米(アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料
- ☐ ドライフーズ・飴・チョコ(菓子類など)

燃料



- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料

その他



- ☐ 生活用水(風呂などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品
- ☐ 歯みがきセット・ひげそり

避難するときはこんな格好で



帰宅困難に備えよう

大地震が発生した場合、交通機関の途絶によって自宅に戻れない「帰宅困難者」になる可能性があります。勤務先や学校から徒歩で帰宅することを想定し、日ごろから準備しておきましょう。

防災グッズを用意する

携帯ラジオ、ヘルメット(防災ずきん)、スニーカー、非常用食品、懐中電灯、革手袋、地図、寒暖対策用品など。

帰宅地図を用意する

災害の状況によっては、道路が通行不能になる場合があるので、複数の帰宅ルートを決めておくことが重要です。

家族との連絡方法を決めておく

地震が発生すると、家族や親戚とは簡単に連絡をとることができません。事前に以下のような項目に関して、家族全員で確認しておくことが重要です。

- ☐ 災害時の安否確認の方法
- ☐ 家族の集合場所
- ☐ 徒歩帰宅する場合のルート

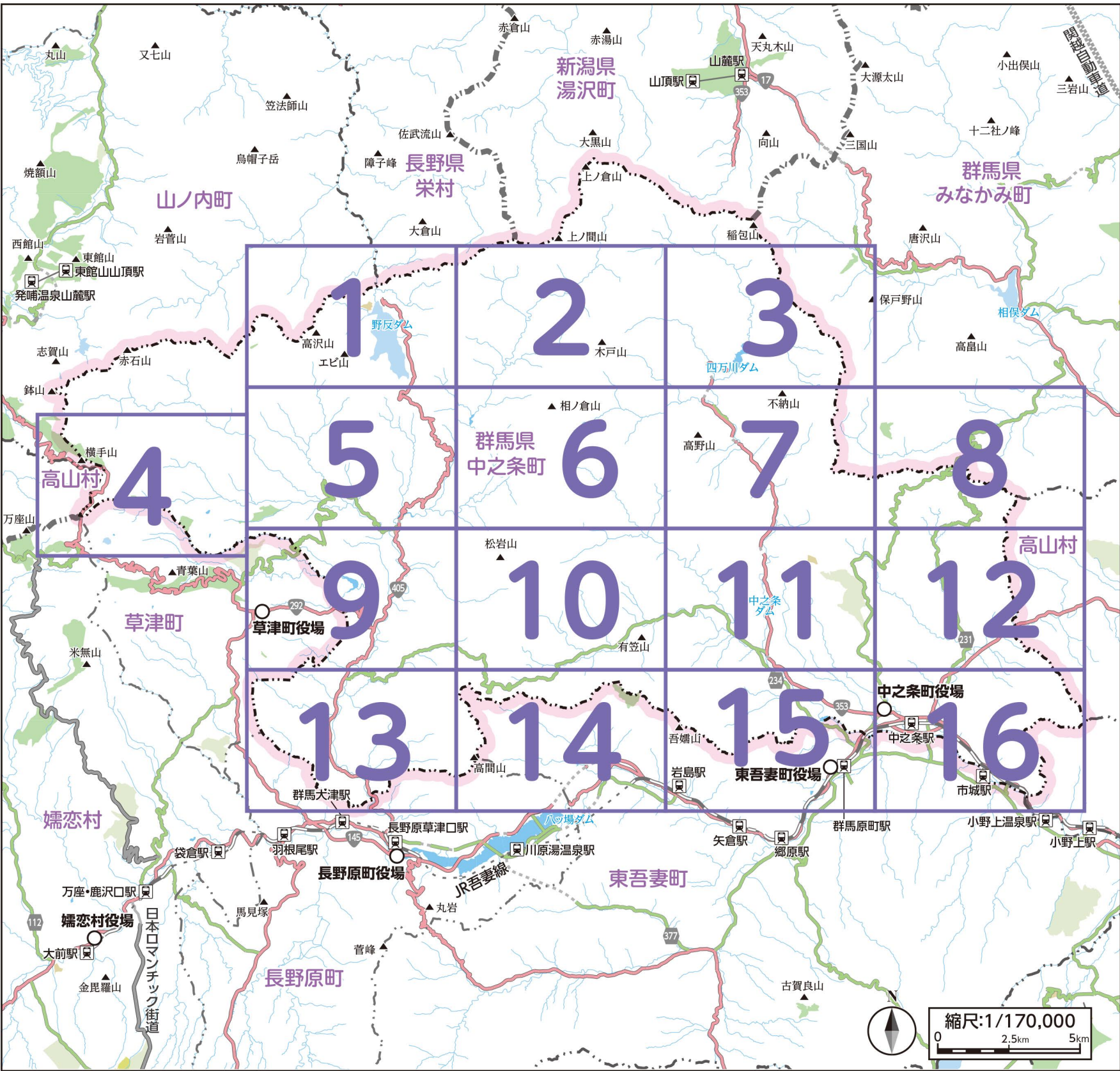


避難所等一覧

全体索引図

指定緊急避難場所		指定緊急避難場所兼指定避難所		市外局番 (0279)							
指定緊急避難場所	指定緊急避難場所兼指定避難所	名称	住所	電話番号	洪水	土砂	地震	火事	内水氾濫	火山	地図座標
1	—	シルクパーク	西中之条250-1	—	○	○	○	—	—	○	15-F-2
—	2	バイテック文化ホール	西中之条135	75-5174	○	○	○	—	—	○	15-F-2
—	3	中之条保育所	西中之条65	75-4603	○	○	○	—	—	○	15-F-2
—	4	町立中之条中学校	中之条町1395-1	75-6464	○	○	○	—	—	○	16-A-1
—	5	総合体育館	中之条町1440	75-4523	○	○	○	—	—	○	16-A-1
—	6	町立中之条小学校	伊勢町1035-1	75-2130	○	○	○	—	—	○	16-B-2
—	7	群馬県立吾妻特別支援学校	伊勢町1035-1	—	○	○	○	○	○	○	16-B-2
—	8	群馬県立吾妻中央高校	中之条町1303	75-3455	○	○	○	—	—	○	16-A-2
—	9	ツインプラザ	伊勢町1005-1	76-3111	○	○	○	—	—	○	16-B-2
—	10	伊勢町保育所	伊勢町1344-9	75-3929	○	○	○	—	—	○	16-B-2
—	11	旧沢田小学校	下沢渡964	—	○	○	○	—	—	○	11-C-4
—	12	旧西中学校	下沢渡575	—	○	×	×	—	—	○	11-C-3
—	13	沢田幼稚園	下沢渡38-2	75-2007	○	×	×	—	—	○	11-C-4
—	14	沢田公民館	下沢渡36	—	○	×	×	—	—	○	11-C-4
—	15	旧第三小学校	四万3954	—	○	○	○	—	—	○	7-B-1
—	16	旧伊参小学校(イサマムラ)	五反田3534-4	—	○	○	○	—	—	○	11-F-3
—	17	伊参公民館	岩本3200-1	—	○	○	○	—	—	○	12-A-3
—	18	旧名久田小学校	平2138	—	○	○	○	—	—	○	12-D-4
—	19	名久田公民館	赤坂164	—	○	○	○	—	—	○	12-C-4
—	20	六合支所	小雨577-1	95-3111	○	○	○	—	—	○	13-C-1
—	21	六合小学校	小雨599	95-3571	○	×	×	—	—	○	13-C-1
—	22	高齢者センター	小雨21-1	95-3241	○	○	○	—	—	○	9-D-4
—	23	10区公民館	入山3124	—	○	○	○	—	—	○	9-D-3
—	24	商工会六合支所	小雨182	95-3549	○	×	×	—	—	○	9-D-4
—	25	生須公民館	生須331-1	—	○	○	○	—	—	○	13-C-1
—	26	中之条山の上庭園	入山4046-2	80-7123	○	○	○	—	—	○	9-E-4
—	27	広池公民館	赤岩1140-3	—	○	○	○	—	—	○	13-D-4
—	28	六合保健センター	赤岩195	—	○	○	○	—	—	○	13-C-3
—	29	下沢公民館	日影149-3	—	○	×	×	—	—	○	13-D-4
—	30	中組公民館	日影820-7	—	○	○	○	—	—	○	13-C-3
—	31	八幡公民館	日影1000	—	○	×	×	—	—	○	13-C-3
—	32	湯久保公民館	日影1256	—	○	×	×	—	—	○	13-B-3
—	33	太子公民館	太子71	—	○	×	×	—	—	○	13-C-2
—	34	品木公民館	入山53	—	○	○	○	—	—	○	9-D-2
—	35	田代原公民館	入山4227-3	—	○	○	○	—	—	○	9-C-1
—	36	小倉公民館	入山170	—	○	○	○	—	—	○	5-C-4
—	37	長平公民館	入山314	—	○	○	○	—	—	○	5-C-4
—	38	根広公民館	入山629	—	○	×	×	—	—	○	5-D-4
—	39	和光原公民館	入山1283	—	○	×	×	—	—	○	5-E-4
—	40	六合温泉医療センター	入山1478-5	95-5711	○	○	○	—	—	○	5-E-4
—	41	六合ふるさと活性化センター	入山2694	—	○	×	×	—	—	○	9-E-1
—	42	京塚公民館	入山3336	—	○	○	○	—	—	○	9-E-1

○ … 対象となる災害時の避難所・避難場所に適している × … 対象となる災害時の避難所・避難場所に適していない — … それ以外 (対象となる災害の想定なし、表示する必要なしなど)



© 2023 ZENRIN CO., LTD.

ハザードマップ凡例

河川洪水浸水想定区域
(浸水した場合の想定される水深)

20.0m 以上の区域
10.0 ～ 20.0m 未満の区域
5.0 ～ 10.0m 未満の区域
3.0 ～ 5.0m 未満の区域
0.5 ～ 3.0m 未満の区域
0.0 ～ 0.5m 未満の区域

対象河川 河川等範囲

河川浸食および氾濫により
家屋倒壊のおそれがある区域

凡 例

地図記号	表示項目	地図記号	表示項目	地図記号	表示項目
0	指定緊急避難場所	+	医療機関	353	国道
0	指定緊急避難場所 兼指定避難所	駅	駅	消	消防署・消防分団
✖	防災行政無線	○	町役場・出張所	⊗	警察署・交番・ 駐在所等
倉	防災倉庫	55	県道・主要地方道	〒	郵便局

土砂災害警戒区域等

土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域